



10月29日(火)生徒朝会を行いました。今回は、高校1年生の先輩から高校生生活や中学校のときにやって良かったことなど、貴重な話をしていただきました。簡単にご紹介します。

玉名高校附属中学校は、高校生になって考えてみると、とても自由度の高い学校で、いろんなことの「きっかけ」になるものがたくさんあるという印象です。

今、僕が頑張っていることは、特に英語です。先生に添削指導もしていただいています。英語は好きで、勉強しているし、もっと英語力を伸ばしたいと思っています。



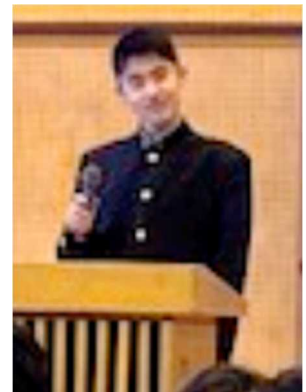
もともと英会話などしたこともなくて、英語が好きというわけでもなく、得意でもなかったけど、英語を好きになる「きっかけ」が中学校時代にあった。それは、カナダへの海外研修です。

海外研修では、生の英語を体験し、普段勉強していることを使って、外国人とコミュニケーションをとることができたときの嬉しさを感じることができました。また、うまく伝えられなかったときの悔しさも経験することができました。

海外研修期間中、ホームステイをしたのですが、ホストファミリーが味噌汁を作ってくれたときがありました。そのときは「赤味噌」の味噌汁でした。自分は、赤味噌と白味噌の違いを説明しようとしたけど、うまく説明できずに終わりました。もっと英語力があれば、話も盛り上がりただろうし、海外での生活を満喫できたのかも知れないと思ったりもしました。日本に帰ってきて、もっと英語を勉強して、もう一度、海外へ行ってみたくて強く思いました。添削指導も毎日受けました。英語力の大幅アップにつながったと感じています。

中学生のみんなには、この中学校生活で得た「きっかけ」を活かしてほしい。「きっかけ」は自然にはやってこないの、勉強と同時に「きっかけ探し」をしてほしい。それがみんなの役に立てば、僕は幸いです。(玉名高校1年 田中くん)

中学校の内にやっておくべきだったこととして、ユメタン（英単語学習用ブック）＋古文文法が挙げられます。高校生になると時間的な余裕がないからです。部活動が終わる時間も中学校のときより遅くなりますし、授業の予習にも時間をとられます。※ここで、実際にスケジュールノートを見せてくれました。ユメタンを活用して英単語を覚えておくと、長文が読めるようになりますし、発音やアクセントも一緒に覚えるともっとよいと思います。古文文法も、同様に古典の文章が読めるようになります。中学校の内にできることをやっておくと、後でとても助かります。(玉名高校1年 田畑くん)



11月29日(金)～12月1日(日)、福島県で行われる「防災リーダー育成プログラム」に、玉名高校附属中学校1、2年生の12名で参加します。

このプログラムは、中高生向けに福島大学が主催されているものです。今回、玉高附中は初めての参加で、福島県伊達中学校で行われる「避難所運営実践プログラム」に参加してきます。

11月6日(水)には事前研修を行い、研修の目的、行程等をみんなで確認しました。「防災・減災」について学ぶ貴重な機会となるに違いありません。

2019.11.8 副校長 山部